

# 認定看護師の訪問看護・指導について

平成26年11月より【訪問看護ステーションの看護師】と【県立新庄病院の認定看護師（緩和ケア認定看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師）】が、患者様のご自宅を一緒に訪問し、専門的な看護を行います。ともに看護をすることで、患者様・ご家族様がご自宅で安心して療養生活できるようサポートします。

## 対象者

訪問看護ステーションをご利用の方で右の項目どちらかに該当する方

- 悪性腫瘍(がん)の鎮痛療法もしくは化学療法を行っていて、通院が困難な方
- 真皮を越える褥瘡(床ずれ)の状態じよくそうにあり、通院が困難な方



訪問介護ステーション



ご自宅

ともに看護(ケア)を行います



県立新庄病院

※ご不明な点、お問い合わせは地域医療部までご連絡ください。TEL0233-22-5525(代表)

# 地域包括ケア病棟の紹介

平成26年10月より第6病棟を地域包括ケア病棟として運用しています。

## ◆地域包括ケア病棟とは

急性期までの治療が奏功し、病状が安定した患者様に対し、在宅への復帰や、介護施設への入所までの医療や支援を行う病棟です。

## ◆地域包括ケア病棟に入院の対象となる方

- ①在宅での療養にあたり、社会資源の利用や療養環境の調整のために、準備が必要な方。
- ②栄養指導が必要な方、服薬指導が必要な方や、疼痛管理が必要な方。
- ③病状は改善しているものの、入院で引き続き治療が必要な方。
- ④在宅復帰するにあたり、積極的にリハビリを行う方。



## ◆入院について

主治医が、適応について判断し、患者様とご家族様に提案させていただきます。ご了解いただいた場合、第6病棟に転棟とさせていただきます。継続して入院・療養とさせていただきます。

## ◆地域包括ケア病棟に入院した場合の利点

主治医、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリスタッフ、退院支援担当者が協力して、患者様のリハビリや退院支援(相談・準備)を行うことです。

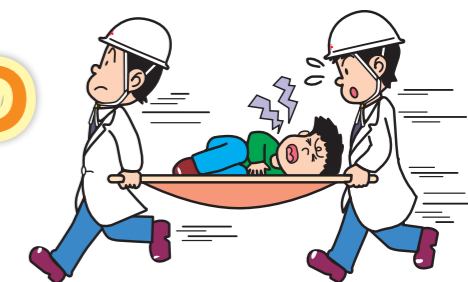
県立新庄病院だより



# わかば

平成27年 春号  
山形県立新庄病院  
新庄市若葉町12番55号  
TEL.0233-22-5525  
yshinbyo@pref.yamagata.jp

# 新庄病院の災害時の対応について



地震などの災害はいつ起こるかわかりません。もし災害が発生したら、直ちに災害時医療体制に移行して地元住民の生命・健康を守ることが、最上地域における災害拠点病院としての当院に課せられた責務です。当院では、主に以下のとおり災害への備えを行っています。

## ①新庄病院DMAT

平成22年に新庄病院DMAT(災害派遣医療チーム)を整備し、災害発生時には現場で被災者の救護活動を行っています。国が主催する研修や実働訓練への参加により、技能の維持に日ごろから努めています。東日本大震災が発生した際にも現場に出動し、被災者への治療にあたりました。



## ②災害対策総合訓練

毎年、災害が発生した想定により、病院全体で災害対策総合訓練を実施しています。訓練実施にあたっては、最上広域消防本部などの御協力をいただいております。



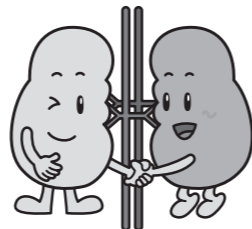
## ③物品の備蓄等

災害発生時には、一時的な停電、断水、物流ストップ等が想定されます。その間必要となるであろう医薬品、透析材料、診療材料、食糧、飲料水、非常用電源、燃料等について、最低3日間分の備蓄を行っています。



診療科シリーズ

# 泌尿器科



山形県立新庄病院で泌尿器科を担当しております安達です。泌尿器科とはどんな診療科であるのかを正確にご存知の方は多くはないと思います。泌尿器科の専門医は全国で約5000人と医師全体の3%に過ぎず、普段はなじみのない診療科です。今回は県立新庄病院泌尿器科の診療内容についてお話しいたします。

泌尿器科が扱う領域は「尿路」および「男性生殖器」の様々な病気です。「尿路」とは腎臓・尿管・膀胱・尿道といった尿が作られてから体外に排泄されるまでの通路を指し、「男性生殖器」とは精巣(睾丸)・精巣上体(副睾丸)・陰嚢・精管・精嚢・前立腺・陰茎といった臓器を指します。

これらの臓器に発生する腫瘍(主に癌)・感染症・結石あるいは機能障害などの疾患の治療を行っています。

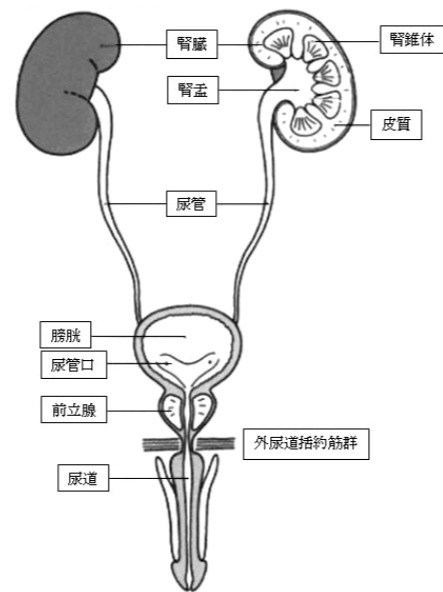
男性・女性を問わず高齢になるにつれて多くのひとが「おしっこが近い」「尿の勢いが弱い」「おしっこがトイレまで

間に合わない・漏れる」などの排尿に関わる症状を覚えるようになります。これらの悩みに対応することも泌尿器科の医師の仕事です。最近ではこれらの症状に対する多くの有効な薬が開発され治療に使用されています。

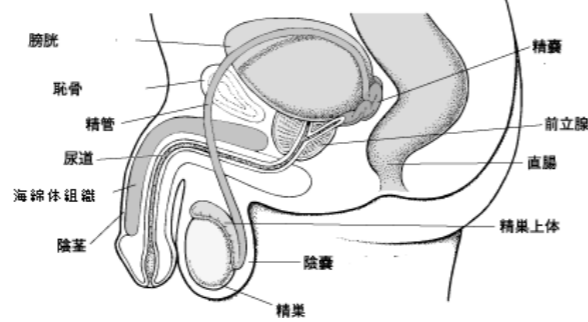
また高齢化が進むにつれて癌に罹患するひとも増加の一途です。泌尿器科の領域も例外ではなく、特に男性の前立腺癌が近年急速に増加しています。

前立腺癌はまずPSAという血液検査で「検診」を行います。その結果、癌が疑われる場合には「前立腺生検」という組織検査を行って確定診断に至ります。診

●尿路



●男性生殖器

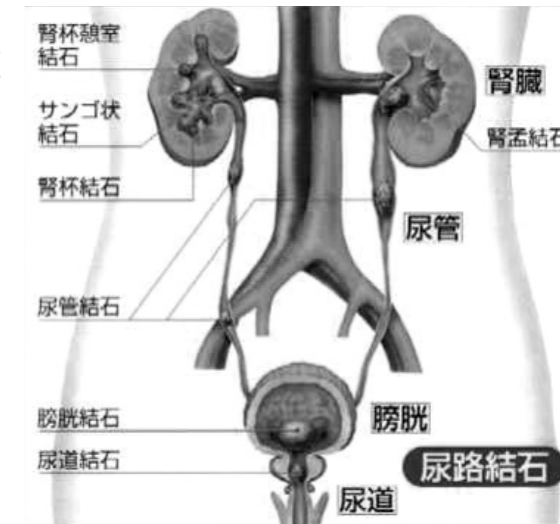


断ののちに癌の進行の度合いに応じて「手術(前立腺全摘除術)」「放射線治療」「薬物治療」のいずれかの治療法を選択していきます。県立新庄病院では現在3名の泌尿器科医が常勤医として働いており、検診・確定診断そしていずれの治療にも対応できる体制を整えています。他にも腎臓癌、腎盂尿管癌、膀胱癌などの泌尿器癌についても手術をはじめとした治療に対応しています。

近年日本人の食事内容の変化(西洋化、カロリー摂取過多など)の影響か、腎結石、尿管結石、膀胱結石といった「尿路結石」の患者さんも着実に増加してきています。特に「尿管結石症」は救急車で病院に搬送されることもあるほど非常に痛い病気です。尿路結石の手術治療法は大きく分けて、①「体外衝撃波」を用いた碎石手術(ESWL)と②内視鏡(ファイバースコープ)を用いた碎石手術(f-TUL)のふたつの方法があります。いずれも短期間ながら入院を必要とします。県立新庄病院ではこれまで長い間これら尿路結石手術ができない状態が続きましたが昨年(平成26年)8月にホルミウム・ヤグレーザーという非常に優れた機器を導入することができました。これにより現在では内視鏡を用いた結石除去手術が可能となりました。

以上、山形県立新庄病院泌尿器科では多種に渡った病気に対応し得る体制をとっていますので、お気軽にご相談いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

●様々な尿路結石



## 地域がん診療連携拠点病院 平成26年度市民公開講座のご案内

テーマ **地域と繋がるがん医療**  
～最期までその人らしく生きる～

平成27年3月4日(水) 18:00~20:00

場 所:山形県立新庄病院 会議室(C棟3F)

参加者:一般市民、医療機関スタッフ、訪問看護ステーション、調剤薬局、ケアマネージャー等



### 内 容

- ①パネルディスカッション  
病院から在宅緩和医療に移行し生活された症例について、その患者様、ご家族様にかかわった医療機関スタッフ、ケアマネージャーなど、それぞれの視点で振り返ります。
- ②相談コーナーの設置  
がんの患者様、ご家族様のニーズをもとに、地域の社会資源、サービス等のご案内をします。